山本学園だより

第74号
発行者
山本学園情報文化専門学校
同　教育後援会
TEL 0566−81−2151

「一生懸命」の先にあるもの

理事長　山本　直明

皆さんが入学した三年前は、コロナ感染症が広がり始めた頃で、入学式は実施できたものの、すぐに臨時休校になってしまい、実際に学校生活が始まったのは五月のゴールデンウィーク明けでした。そのため一学期の中間試験がなくなり、一学期の終業式も二週間遅れとなりました。そんな高校生活のスタートでしたが、皆さんは実に前向きに学校生活を送りました。体育祭や学園祭などの行事はさまざまな制限がある中で、執行委員や生徒会を中心にどのように実施するのがよいかと考え、工夫を凝らしました。その姿は、とてもエネルギッシュでした。

特にこの一年を振り返ってみますと、「友との絆！競って磨いて深めよう！」というスローガンのもとに行われた体育祭では、クラス対抗リレーや長縄跳びなどの種目で、皆さんの全力で取り組む若さ溢れる姿を見ることができました。また、学園祭では、ファッションショー、CGアニメーション、YGパフォーマンスと圧巻のステージが続き、展示の部でもふだんの授業や活動で一生懸命取り組んできた成果が表れていました。三年目を迎えた「イルミネーション2022」も、実行委員を中心に見事に完成させ、地域を明るくしてくれました。こうした行事はもちろんですが、日々の学校生活において一人ひとりの生徒が地道に努力を続け、何よりそれを発揮してくれたのが、何よりうれしいことでした。

ファッションデザイン科のファッション・ビジネス科の全国高等学校ワープロ競技大会での活躍など、目を見張るものがありました。加えて、資格取得に向けて一人ひとりが努力を積み重ねた結果、知識はもちろん技術や技能が身につき、一年前とは比べものにならないほど、力をつけました。まさに「継続は力なり」です。

こうした「生懸命努力を続けていった先には、いったい何があるのでしょうか。「生懸命あきらめずに努力を続けるといった間にたことが自分のものになります。つまり、知識や技術、技能が身について自信が生まれ、夢や目標に近づくことができます。さらに、努力する姿から信頼が得られるのです。

これから多くの人と出会い、その人たちとともに生きていく皆さんには、ぜひ信頼される人になって、これからの社会をつくっていってほしいと思います。皆さんの未来が幸多きことを願っています。

自分らしい人生を

教育後援会会長

中村　大輔

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

入学の時に三年という年月は長く感じた方もいればあっという間だったかもしれません。今私がお伝えしたいのは、皆さんの人生は皆さん自身のものであるということです。もし皆さんがやってみたい事があれば迷わず一歩を踏み出して頂きたいと思っております。ときには止まって自分の足跡を振り返ることもあると思います。そして結果を受け止め、なりたい自分に向けて前進し、皆さんそれぞれが自分らしい人生を進んで頂きたいと思います。月日が過ぎる速さはそれぞれ皆さん感じ方が違うと思いますが、登る山や登り方は違えど、皆さん一人ひとりの想いを大切に一歩一歩歩んでいけば、おのずと充実した人生を送れるようになると思っております。ナンバーワンを目指す人もありますが、それよりももっと大切なのが自分らしい人ひとりのオンリーワンを体現して欲しいと思っております。その先の景色はきっと望む景色であると祈っておりますし、皆さん自身がきっと生きた証となって自信や誇りを持てるようになると信じてやみません。

もう一つ後援会長として、この山本学園に携わらせていただいて感じたことは、皆さんが三年間過ごしてきた学校の教育環境はお互いを認め合い、高め合う素晴らしい環境であったということです。そうした「思いやり」を持てる皆さんは、今後歩んいく中で大人になり、自分の家族や親しい方の中に自分よりも弱く助けが必要な人が出てきたときに、きっと皆さんは動揺することなく、しっかりと心の目で現実を捉え、助け合う事を選ぶでしょう。それができるまたはそう思える芯の強い若者が育つ教育環境が校風として感じられました。最後に、皆様がこの三年間で磨いてきた力と、心をこれから社会で存分に発揮して、社会のお役に立てる人材として活躍されることを期待しております。

YGスペシャルウィンター2022

十月十七日（月）第六回生徒議会において「YGスペシャルウィンター2022」企画と同実行委員会発足が提案され全会一致で可決されました。この企画は校舎を電飾し、コロナ禍の地域や社会を励ますためや高校生活のかけがえのない思い出をつくるためという目的で生徒会役員によって計画されました。

有志実行委員八名と有志教職員七名は十二月初旬よりイルミネーションのデザイン構想や備品検を行いました。そして、十二月末より始まった電飾設置ではイルミネーションを使って「屋上からの四本のドレープライトツリー」「創作イルミネーションによる光のトンネル」「ボールナイアガラのちびっこ通路」「水辺で戯れるトナカイ」といった電飾を創り上げました。また、本年はプラスチック段ボールを使った創作イルミネーションコンテストも開催されました。「話題のジブリやマリオやゲームのキャラクター」、「季節感のあるサンタクロースや翌年の干支のウサギ」といったものまでさまざまなイルミネーションが展示されました。また、点灯式当日には卒業生の進路をイメージし、三号館西館校舎屋上から本部校舎の「CFC」を照らすビームサーチライトが設置され、見事な在校生の未来への光の道筋が示されました。コロナ禍の三年間にわたり、山内教充先生をリーダーとして開催された、「コロナ禍の地域社会を励ます」という目標を掲げた「YGスペシャルウィンター」は、惜しまれながらも、本年度で結びを迎えることになりました。来年度も参加しました。代表生徒は二年生から選出されましたが、昨年度に引き続き、見事な成績を収めることができました。結果は左記の通りでした。

団体の部
第二位　緑誠蘭高等学校

個人の部
第一位　大見　香花（安城北中）
　　鈴木　拓斗（碧南中央中）
　　深津　雅（六ツ美北中）
　　李　汰樹（前林中）
　　佐羽尾真優（御津中）

長野県高等学校ワープロ競技会

十一月五日（土）に開催された「第十六回長野県高等学校ワープロ競技会」に本校生徒五名が緑誠蘭高等学校の代表として参加しました。代表生徒は二年生から選出されましたが、昨年度に引き続き、見事な成績を収めることができました。結果は左記の通りでした。

団体の部
第二位　緑誠蘭高等学校
大見　香花（安城北中）
鈴木　拓斗（碧南中央中）
深津　雅（六ツ美北中）
李　汰樹（前林中）
佐羽尾真優（御津中）

個人の部
第一位　大見　香花（安城北中）

BUNKAファッションデザイン画コンクール

北海道文化服装専門学校主催、「第三十一回BUNKAファッションデザイン画コンクール」の審査が行われ、九月中旬に各賞が決定しました。応募総数七二六点の中、高校生の部において、本校生徒四名が受賞しました。

田山淳朗賞
原　寧音（甲山中）

入選
浅井　彩良（沓掛中）
谷山璃唯奈（三好中）
細田　華生（春木中）

第二十八回調理師養成施設調理技術コンクール

十月二十二日（土）、第三十八回調理師養成施設調理技術コンクール東海北陸地区大会が開催されました。

この大会は調理師学校を、今年度卒業する二万五千人が対象の調理技術を競う大会です。

今回も調理師科より二名の生徒が出場しましたが、全国大会出場は叶わず残念でした。今後は、大会の厳しさを後輩に伝えて、来年に向けて猛練習を続け全国大会に挑みたいです。

東海北陸地区大会出場
山下　和（岡崎南中）
福山　心愛（西端中）

栄誉に輝く卒業生

【卒業生各種表彰】

山本学園情報文化専門学校　学校賞
愛知県知事賞
ビジネス科　松田　蓮（竜海中）

緑誠蘭高等学校　学校賞
知立市長賞
ビジネス科　元松　彩香（甲山中）

山本学園情報文化専門学校　優秀技能賞
愛知県専修学校各種学校連合会　会長賞
ビジネス科　後藤　蒼空（矢作北中）

緑誠蘭高等学校　優秀技能賞
ファッションデザイン科　遠藤　小桜（猿投台中）
調理師科　福山　心愛（西端中）
ビジネス科　中村　荘太（安城西中）

山本学園情報文化専門学校　優良賞
ファッションデザイン科　幸松まひろ（葵　中）
ビジネス科　青山　莉子（福岡中）
井手之上亮太（竜北中）
木戸　朝陽（竜海中）
原屋　暖（上郷中）

日本私立中学高等学校連合会賞
ビジネス科　伊藤　礼二（竜海中）

全国商業高等学校協会卒業生成績優秀者賞
ビジネス科　中村　荘太（安城西中）

緑誠蘭高等学校商業関係検定試験優秀者賞
ビジネス科　檜谷　愛梨（大府西中）
後藤　蒼空（矢作北中）
飯田　光祐（大府西中）
中村　荘太（安城西中）
渡邉　司（御津中）

山本学園情報文化専門学校　功労賞
ファッションデザイン科　幸松まひろ（葵　中）
遠藤　小桜（猿投台中）
原　寧音（甲山中）
森　友紀（横須賀中）
調理師科　山下小百合（竜海中）
山下　和（岡崎南中）
ビジネス科　藤岡　良誓（翔南中）
稲葉　利希（城北中）

活躍する本校生徒

【各種表彰・代表】

愛知県高等学校総合体育大会卓球競技
西三河予選
学校対抗　第六位　県大会出場　山本学園男子卓球部
ダブルス　優勝　稲葉　利希（城北中）　下村　遥哉（西尾中）
シングルス　県大会出場　稲葉　利希（城北中）　下村　遥哉（西尾中）

愛知県夏季卓球新人大会
シングルス　優勝　下村　遥哉（西尾中）

中部日本卓球選手権大会　県予選
中部大会出場　下村　遥哉（西尾中）

西三河地区高等学校卓球選手権大会
ダブルス　第三位　稲葉　利希（城北中）　下村　遥哉（西尾中）
船山　優人（矢作北中）

東海卓球選手権大会　県予選
東海大会出場　下村　遥哉（西尾中）
船山　優人（矢作北中）

岡崎市年齢別卓球大会
第三位　船山　優人（矢作北中）

愛知県専修学校各種学校連合会卓球大会
学校対抗　優勝　山本学園男子卓球部
準優勝　山本学園女子卓球部

全国専門学校卓球選手権大会
団体戦　優勝　山本学園男子卓球部
優勝　山本学園女子卓球部・他二校
ダブルス　優勝　稲葉　利希（城北中）　下村　遥哉（西尾中）
準優勝　山下　和（岡崎南中）　酒井　瑛（雁が音中）
第三位　混合ダブルス　稲葉　利希（城北中）　山下　和（岡崎南中）
シングルス　準優勝　山下　和（岡崎南中）
第三位　稲葉　利希（城北中）

西三河地区高等学校学年別卓球大会
第三位　下村　遥哉（西尾中）

第十七回知立市親子川柳
入選　江口　那奈（甚目寺中）
濱井琉衣奈（下山中）
吉谷　心花（矢作北中）
月山　颯太（高橋中）
岩月香菜絵（竜神中）

第二十八回全国専門学校卓球選手権大会

十二月六日（火）・七日（水）と駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて、第三十八回全国専門学校卓球選手権大会が開催されました。この大会は専修学校制度十周年を記念して、昭和六十年十月に第一回大会が開催されました。その後、連綿と受け継がれ、本年度で二十八回を数える歴史ある大会です。昨年度、本校は創部初となる日本一を勝ち取りました。しかし、コロナ禍により本校への文部科学大臣杯の授与は幻となってしまいました。そして本年度は文部科学省や全国専修学校各種学校総連合会等、様々な方面から後援を得て、大会が開催されました。本校は連覇を狙って大会へ挑みました。例年通り、インターハイ出場高校出身の選手や全国各地区の強豪高校出身の選手が数多く参加しましたが、強い精神力で競り勝ち、愛知県へ専門学校日本一の称号と文部科学大臣杯を持ち帰ることができました。

希望を胸に今、はばたく
卒業生から在校生へ

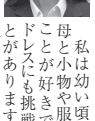
自分の夢に向かって
ファッションデザイン科三年
遠藤　小桜（猿投台中）

私は幼い頃から叔母と小物や服を作ることが好きでした。ドレスにも挑戦したことがあります。そしてもっと技術を学びたいと思い、山本学園に入学しました。

入学後、基本を学ぶ時期にコロナウイルスで登校できないことが続きましたが、沢山のことを学ぶことができました。そして入学したころは想像できないくらいデザイン力や縫製の技術を身に付けることができたと思います。

中部ファッション専門学校に進学後は、夢であるパタンナーを目指します。初めて学ぶことも多いと思いますが、楽しみです。今以上にたくさんのことを身に付け、いろいろなことに挑戦したいです。

思い出を糧に
ビジネス科二年
後藤　蒼空（矢作北中）



私はこの三年間、多くの経験を積み、学びを深めてきました。特に学業に力を注ぎ、初めての情報学に悪戦苦闘しながらも、友人たちと教え合い、競い合いながら常に好成績を収めるとともに、国家資格の取得にも成功しました。一方、学校生活においてもホームルーム委員や保健委員会の委員長を経験して、率先して動くことの大切さを学びました。

専門課程へ進学後も、山本学園での学びや思い出を糧に、自分自身さらなる成長を目指し日々努力していきます。在校生の皆さんの残りの学校生活が実りある毎日になるよう、お祈りしております。

山本学園でみつけた夢
調理師科三年
小野　夏芽（平洲中）

私は料理を作るのが好きで基礎や知識を学びたいと思い山本学園に入学しました。調理実習では、高い技術を身につけることが出来ました。机上での基礎や知識を学ぶうちにお菓子作りへの興味がわき、上級学校の中部製菓専門学校で学びたいと思うようになりました。中部製菓専門学校では新しい教科や実習が増えますが、更なる向上を目指し日々努力していきたいです。国家試験の製菓衛生士の合格を目指し頑張ります。

在校生の皆さん、高校三年間で多くの技術を習得し、関わった人達を大切にして夢に向かって頑張ってください。

学ぶことの楽しさ
ビジネス科三年
中村　荘太（安城西中）

私は、山本学園での三年間を通して、学ぶことの楽しさを知ることができました。

高校生になる前までは、学ぶことの意味や楽しさを、理解することができませんでした。ですが、高校生になり簿記などの経験のない教科に触れることで、自分の学ぶことへの姿勢に変化がありました。経験のない教科だからこそ苦手意識もなく、日々増えていく知識を活用できた瞬間、楽しさを感じました。学ぶことの楽しさを知ることで自信を持つことができ、学校外での資格の挑戦や大学受験にも、活かすことができました。

名古屋商科大学経営管理課程では、討論を中心に更に実践的な学習ができます。高校生活で得たものを大学生活でも活かし、また学びを増やしていくことで、将来も学ぶことを楽しみ努力し続けたいと思います。

初めての経験と興味
ビジネス科三年
元松　彩香（甲山中）

私は、山本学園に入学して初めてプログラミングについて学びました。初めて自分で作ったプログラムが正常に動作したのを見たとき、とても嬉しかったのを今でも覚えています。そしてもっと詳しく学びたいと思い、プログラミングコースに進みました。

コース別の授業でより詳しく学ぶようになると、何度も躓くことがありました。資格取得にても苦労しました。でも、先生方の丁寧な解説や補習のおかげで無事合格することができました。

専門課程ではより深く、より多くのことを学び、自分の将来のための力をつけていきたいです。

山本学園で学んだこと
ビジネス科三年
城本　拓斗（松平中）

私はアラコ株式会社に内定を頂きました。山本学園で学んだ様々なことが内定につながったと感じています。高校生活ではコミュニケーション力の向上を自分の中で目標に掲げていました。二年生では学習を深めること以上に、友人と交流することを大切に生活してきました。二年生ではボランティア委員会に所属し、公共福祉活動に積極的に参加し、多くの人々に接する経験や他者を思いやる心を学びました。三年生では、将来を見通して、懸命に就職活動に取り組むことができました。求人分析や研究、試験対策に懸命に打ち込むことができました。山本学園で学んだ多くの知識は内定を得るだけでなく、今後の人生に生かしていきたいと思います。

進路状況

◎進学状況（一月二十七日現在）
合格者　（一二〇名）

上級学校合格者
山本学園情報文化専門学校（五十八名）
中部ファッション専門学校（十一名）
中部製菓専門学校　（九名）

その他の進学先
愛知東邦大学、東海学園大学、名古屋学院大学、名古屋商科大学、日本福祉大学、人間環境大学　など

◎就職状況（一月二十七日現在）
内定企業　（五十九社）

主な就職先
愛知皮革工業㈱、㈱アオキスーパー、㈱アクセル、㈱旭工業所、㈱浅野機械工業所、アスカ㈱、アラコ㈱、㈱石実メッキ工業所、内浜化成㈱、㈱エディオン、岡崎通運㈱、カリツー㈱、刈谷紙器㈱、㈱木曽路、衣浦部品工業㈱、㈱日下歯車製作所、㈱グリーンテック、コクネ製作㈱、ことぶき㈱、榊原工業㈱、㈱さくら大樹、㈱サーティカリヤ、自衛隊、㈱G-7スーパーマート、㈱杉浦、㈱鈴木軌道、㈱鈴木工業、㈱善常会、タイガー総業㈱、大喜プラスチック、大興運輸㈱、㈱竹代、㈱武田工業所、㈱中外TBコーポレートサービス㈱、㈱ツルタテクノス、㈱鉄友会、デンソーテクノヒート㈱、東海鉄工㈱、東洋製鉄㈱、戸田工業㈱、トヨタホーム㈱、㈱ナガト、中日本産業㈱、㈱丹羽鉄工所、服部ダイカスト工業㈱、ビューテック㈱、㈱平岩鉄工、㈱フィールコーポレーション、㈱フラン、丸高㈱、丸中鍛工㈱、丸八重整備㈱、㈱マルハン、三井屋工業㈱、㈱明翠会、明和工業㈱、ユニチカ㈱、㈱ロイヤルフレンドシップ、㈱ロジックス

卒業生に贈ることば

卒業生に向けて
調理師科二年
安藤　咲良（弁郷中）

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私が先輩方への思い出で一番心に残っているのは、調理補習の時の事です。実技試験の度に行われる業後の補習の時間、「そこでうまくならなくては試験に合格できない…」というプレッシャーで何度も心が折れそうになりました。しかしそんな時、先輩方は私達に優しくアドバイスをしてくださったり、大丈夫と背中を押して下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。私達も先輩方のように後輩が困った時に手を差し伸べられるような、三年生になれるように頑張ります。

ご卒業おめでとうございます
ビジネス科二年
髙木　翔大（福岡中）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

在校生を代表してお祝い申し上げます。

私たち在校生は生徒会活動や部活動など様々な学校行事で先輩方にはお世話になりました。

今年は二年ぶりに学園祭が有観客で行われ、舞台発表や展示発表を楽しむことができました。また、体育祭やイルミネーションなど生徒主体で楽しめる行事が実施できたのは先輩方のおかげです。

来年度からは先輩方の意志を受け継ぎ、生徒会活動や学校行事を盛り上げていきたいです。先輩方もお体を大切に、これからの新しい生活を頑張っていってください。

知立市内福祉施設へのクリスマスケーキ贈呈

十二月二十二日（木）調理師科代表生徒三名、男女ボランティア委員長二名、生徒会役員二名が二グループに分かれ、知立市内の福祉施設へ手作りのクリスマスケーキを届けました。当日は上級校である中部製菓専門学校の専門的施設を使わせていただき、同校の教授や先輩方の指導を受け、ホールケーキ二十個を完成させました。この活動は二〇〇一年から始まり、今年で二十一回目を数えます。また、ボランティア委員会が一年を通して募った二円玉募金を、知立市社会福祉協議会と赤い羽根共同募金運動へ寄付もしました。

上記の活動が地域から評価され、本校は、二月二十三日（木）パティオ知立にて知立市共同募金委員会より感謝状を受贈しました。

学園祭

十月二十八日（金）二十九日（土）の二日間にわたり、第三十二回学園祭・オープンキャンパスが開催されました。舞台発表の部では、ビジネス科によるアニメーションの上映、ファッションデザイン科によるファッションショーが行われました。ショーの中で実施されたYGファッションコンテストでは、森桃輝さんの「shut」が、YG賞・知立市長賞を受賞しました。また、YGパフォーマンスでは生徒の持つ意外な能力に気づかされ、大いに盛り上がりました。展示の部では、調理師科による展示作品の中から投票を行い、製菓部門では山下和さん、福山心愛さんによる「Peaceful world」が、技術部門では武田幸愛さん、布野結菜さん、光岡空乃さん、岡野紗愛さん、曽根くるみさんによる「風雅～香る秋風の贈り物～」が、二年生部門では濱井琉衣奈さん、岩原依美姫さん、佐藤曖優さん、中島芽生さん、野野愛子さんによる「ROSE Flower ～バラの庭～」が得票を集め、それぞれ金賞に選ばれました。ビジネス科展示ではCGコンテストが行われ、安藤小埜花さんによる「現夢」が最優秀賞に選ばれました。また、カードゲームやeスポーツなどで参加した人を楽しませました。その他、特別展示では新制服の試着を行い新しい制服に身を包んだ中学生が、嬉しそうな笑顔を見せました。東館や西館では各部活動による展示やドローンなどのアトラクションが行われ、来場者を楽しませました。また、調理師科、係生徒による屋台が三年ぶりに開催され、おいしい料理に舌鼓を打ちました。さらに本年度は新企画である「射的などの露店」を校内祭で、「ラインウェイを歩いちゃおう」をオープンキャンパスで開催しました。両日とも晴天の下、笑顔と歓声に包まれながら幕を閉じました。

体験入学・見学会

十一月十二日（土）、十九日（土）、二十六日（土）、十二月三日（土）の四日間、県下一〇八校四七名の中学生を迎え、山本学園ホールをメイン会場として、二号館、三号館において体験入学・見学会が実施されました。

今年度は七つの講座を設け、開講されました。ファッションデザイン科では「くまちゃんうさぎちゃん講座」でぬいぐるみの制作、「ドローン講座」で法律の学習やドローンの実演が行われました。調理師科では「ピザ職人体験講座」と「手作り煮込みハンバーグ体験講座」で調理実習・試食が行われました。ビジネス科では「CGアート講座」でペンタブレットを使い、イラストの製作、「動画クリエイター講座」で自作動画の製作、「ゲームプログラミング講座」でシューティングゲームの製作、「ロボット講座」でプログラミングによるロボット制御の実演がそれぞれ行われました。どの講座も多くの中学生が参加し、大盛況でした。

今後も、さらに魅力ある内容で中学生を迎え入れたいです。

第二十九回ヤマガ PC入力スピード認定

中学生を対象に十分間、正確に入力できた文字数に応じて、本校独自の級・段位認定基準により認定証を発行しています。今年度、最も多く文字を入力した生徒は二五〇文字を超え二段の認定結果となりました。

また、スピードと正確性を競うコンテストの部においては、個人戦に加え、団体戦も行っています。今年度は二二校五十チームが参加しました。団体戦は三名から六名でチームを構成し、その上位三名の合計得点でランキングを競いました。文字の入力というと個人競技の印象が強いですが、部活動の一環として団体で参加を続けている中学校もあり、個人戦とは違うチーム競技としての面白さを感じたようです。

十二月二十六日（月）に「第二十九回PC入力スピード認定」がコロナ禍の感染症対策を徹底した上で行われました。県下より四十校二四七名の中学生が集まり、同認定試験の定着ぶりがうかがわれました。

この認定試験は、中学生を対象に十分間、正確に入力できた文字数に応じて、本校独自の級・段位認定基準により認定証を発行しています。今年度、最も多く文字を入力した生徒は二五〇文字を超え二段の認定結果となりました。

また、スピードと正確性を競うコンテストの部においては、個人戦に加え、団体戦も行っています。今年度は二二校五十チームが参加しました。団体戦は三名から六名でチームを構成し、その上位三名の合計得点でランキングを競いました。文字の入力というと個人競技の印象が強いですが、部活動の一環として団体で参加を続けている中学校もあり、個人戦とは違うチーム競技としての面白さを感じたようです。

個人戦　結果
優勝　一二六一点（三年生）
準優勝　一二三四点（二年生）
三位　一一八点（二年生）

団体戦　結果
優勝　岡崎市立矢作北中学校A
準優勝　豊田市立朝日丘中学校A
三位　岩倉市立岩倉中学校A

専門課程姉妹校だより

中部ファッション専門学校

今年度のGCFCファッションコンテストのテーマは「a-i」。私を表す「I」と、人や物事に対する「愛」が掛け合わされており、「性別・年・こうあるべき」などの固定概念から解放され、自分らしくファッションを楽しみたい、人にそれぞれ個性があるように愛のカタチや表現の仕方は自由・・そんな意味が込められています。企業とのコラボレーションや、コースを超えたチーム編成など、より各コースの専門性を前面に出したものとなりました。また、今年度からファッション学科二年生・スペシャリスト学科三年生対象として授業に導入した「3D・CAD」でのアバターを使用したバーチャルリアリティショーにも注目が集まりました。

中部製菓専門学校

中部製菓専門学校では、「専門的な技術と知識の修得」「各種資格取得」「専門分野への就職」の三つに重点を置いています。

本校では、有名ホテルや洋菓子店で現在活躍中の一流パティシエをお招きし、スペシャリティセミナーを実施しています。製菓業界の最新技術を学ぶ貴重な機会です。

今年度も、国家資格である「製菓衛生師」試験において、受験者全員合格を達成しました。これは八年連続のことです。また「色彩検定」や「パティスリーラッピング検定」においても、大変多くの学生が合格する良い結果を残しました。

就職においても、コロナ禍で厳しい中、学生たちは努力し、高い内定率を達成しました。

山本学園情報文化専門学校専門課程

・コンテスト受賞結果
「第13回ポスターグランプリ」
グランプリ最優秀賞　一名
特別賞　一名
協賛会社賞　三名
入選　四名

・今年度の主な検定取得結果

応用情報技術者試験	五名
基本情報技術者試験	四名
C言語プログラミング	十八名
Java認定試験2級	七名
CAD利用技術者試験	十五名
MOS試験	一一三名
Webクリエータ	九十六名
フォトショップ試験	十七名
イラストレータ試験	十七名
日商PC検定文書6級	十七名
コミュニケーション	四十七名
フォトマスター検定	十四名
ビジネス統計	一名